

# 業績ハイライト

## 平成26年9月中間期の決算

平成26年9月中間期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の決算は、有価証券等の市場取引にかかる収益が減少したことにより、経常収益が前中間期比17億98百万円減少の204億79百万円、経常利益が前中間期比7億76百万円減少の43億20百万円、中間純利益が2億34百万円減少の31億26百万円となりました。

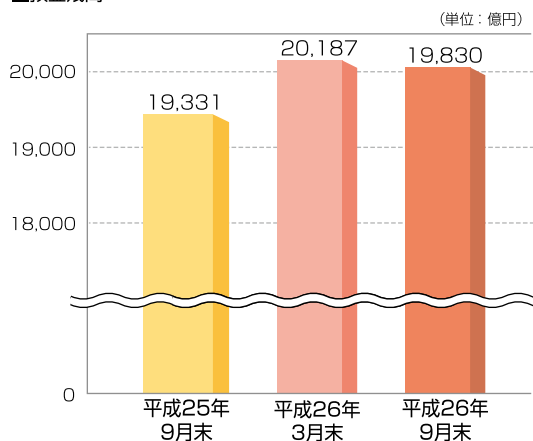
## 預金・貸出金等の状況

平成26年9月末の総預金残高は1兆9,830億円となり、前年同期比498億円増加、平成26年3月末比357億円減少しました。また、個人預かり金融資産残高は3,053億円となり、前年同期比207億円増加、平成26年3月末比103億円増加しました。

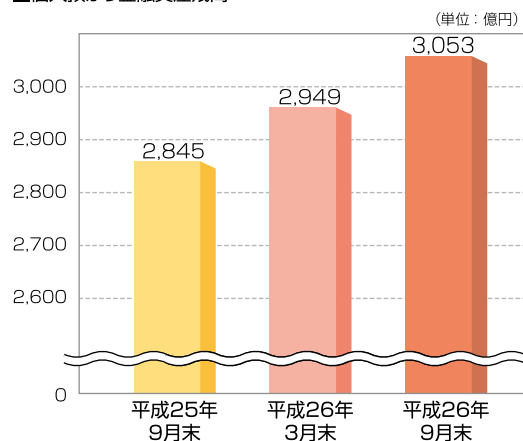
平成26年9月末の総貸出金残高は1兆3,114億円となり、前年同期比660億円増加、平成26年3月末比227億円増加しました。

(注)個人預かり金融資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。

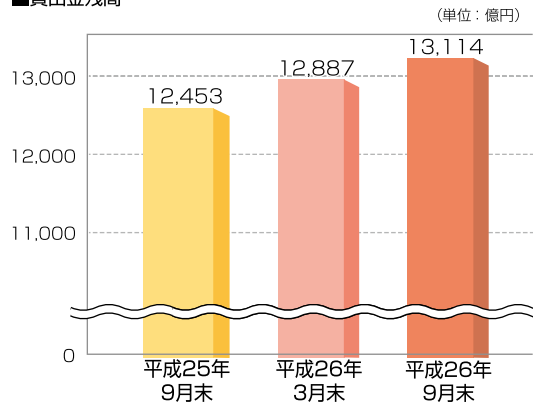
■預金残高



■個人預かり金融資産残高



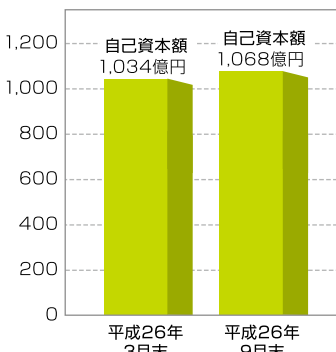
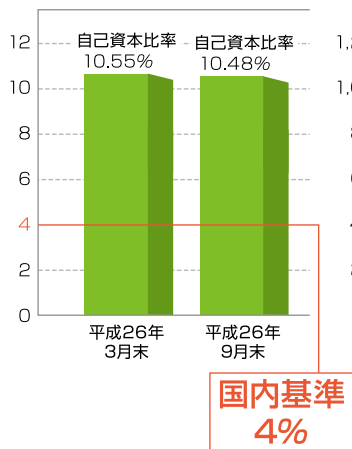
■貸出金残高



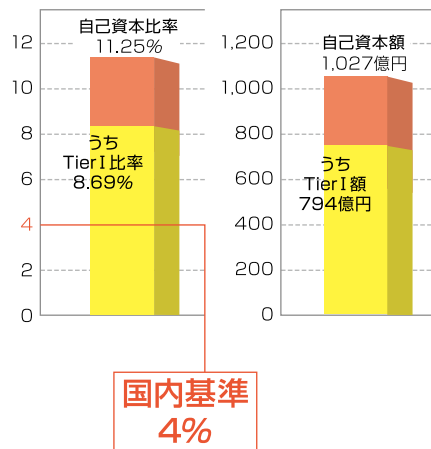
## 自己資本比率

- 自己資本比率(国内基準)は平成26年3月末からバーゼルⅢを基準としたものに変更となり、平成26年9月末では10.48%となりました。平成26年3月末と比較して利益の積み増しにより自己資本は増加しましたが、貸出金の増加などによりリスクアセットも増加しましたので、自己資本比率は0.07%低下しました。

■自己資本比率(バーゼルⅢ、国内基準)



参考:平成25年9月末(バーゼルⅡ、国内基準)



## 不良債権の状況

- 債権総額に占める金融再生法開示債権(いわゆる不良債権)の比率は、平成26年3月末の3.22%が平成26年9月末には2.97%となりました。
- なお、当行は部分直接償却を行っておりませんが、部分直接償却を行った場合のこの比率をみますと、平成26年9月末で2.68%(平成26年3月末では2.88%)となっております。

■平成26年9月末の不良債権の状況

